

昭和60年度

(第7回)

輸出入食品検査技術集団研修コース
実 施 要 領

昭和60年9月

国際協力事業団(JICA)

兵庫インターナショナルセンター(HIC)

〒654 神戸市須磨区一ノ谷町4丁目5番地

電話:神戸 078 (734) 5175~6 (直通)

H I C
J R
85-4

000

98.6

TSC

国際協力事業団	
受入 月日 '85.11.18	000
登録No. 12088	98.6
	TSC

目 次

1. 集団研修コース名・期間・定員・受け入れ	1
2. コースの目的・背景	1
3. 到達目標	1
4. 研修項目・研修方法	2
5. 研修員参加資格要件	2
6. 研修実施体制および運営	3
7. 研修施設・宿泊施設	3
8. 研修教材・資機材	3
9. 研修付帯プログラム	4
10. 研修の評価	4
11. 昭和60年度応募・選考状況	5

【参考資料】

付 ー 1	研修員名簿	7
	研修実施日程	11
付 ー 2	研修関係機関及び関係者リスト	
	Ⅰ 研修実施関係機関一覧表	23
	Ⅱ 講義及び見学内容	25
付 ー 3	国別・年度別研修員参加実績表	31

JICA LIBRARY



1015753[5]

昭和 60 年度輸出入食品検査技術コース 研修実施要領

1. コース名等

イ. 和 文 名 : 輸出入食品検査技術コース

英 文 名 : IMPORT AND EXPORT FOOD INSPECTION

ロ. 研修期間 : 自 昭和 60 年 9 月 12 日
(3 ヶ月)
至 昭和 60 年 12 月 10 日

ハ. 定 員 : 6 名

ニ. 受け入れ : 6 名 (6 ケ国)

2. コースの目的・背景

イ. 目 的 : わが国との食品貿易の盛んな開発途上国を対象にして、わが国の輸出入食品監視体制とその仕組、食品の規格基準および化学試験や細菌検査の方法を理解せしめ、よって参加国との円滑な食品貿易の発展に寄与することを目的とする。

ロ. 設立年度 : 昭和 54 年度

経 緯 : 世界的な食糧需要の増大、供給の一般的な不足傾向を背景とし、現にある世界の食品原料を有効に利用することが重要であること、および制度上、技術上の問題から、食品の国際的な流通において様々な障害を招いていることに鑑み、集団研修の共通の場において、これらの問題を検討、研修し、相互の理解と知識を深めることにより、単に発展途上国の食糧事情改善に益するのみならず、国際間の食糧問題改善にも資することを期待して開設した。

3. 到達目標 : 食品および食品工業に関する総合的な概念、管理および監視に必要な知識と技術を理論と実際の両面から付与しようというものである。

4. 研修項目

(1) 理論

ア. 食品の産業における衛生・管理および監視

イ. 食品衛生の範囲

ウ. 食品と行政

エ. 食品についての各論

(2) 見学・実習

ア. 国立食品検査機関

イ. 食品の製造及び品質管理

ウ. 食品衛生教育施設

エ. 植物防疫及び規格検査

オ. 食品分析機器操作

カ. 食品分析技術

研修指導方法

(1) 講義

(2) 実習

(3) 見学

(4) 研修・視察旅行

5. 研修員の参加資格要件

イ. 応募条件（GI記載条件）:

- ① 所定の手続きにより割当国政府より推薦された者
- ② 大学卒業又は同程度の学力を有し 当該分野の実務経験 3 年以上を有するもの
- ③ 年令 40 才以下の者
- ④ 十分な英語能力（話し、書くこと）を有する者
- ⑤ 心身共に健全な者

ロ. 入選方法及び選考基準:

参加割当国政府からの要請書（A 2－A 3 フォーム）に基づき、国際協力事業団兵庫インターナショナルセンターはコースリーダーと協議して上記イ. の条件を満

たす者を1カ国1名を原則として選考し本部へ回答する。

ハ. 割 当 国 :

- (1) アジア地域: インドネシア、マレーシア、フィリピン、中国、
ブルネイ、シンガポール (計6ヶ国)
 - (2) 中近東地域: トルコ (計1ヶ国)
 - (3) 中南米地域: ブラジル、ペルー (計2ヶ国)
- 合計 9ヶ国

6. 研修実施体制および運営

イ. コース運営の仕組: 厚生本省、国立衛生試験所(東京・大阪)およびJICA兵庫
インターナショナルセンター(含コースリーダー)、三者協議により研修日程表を
作成、前半は東京、後半は関西にて研修を行う。

ロ. コース・リーダー: ㊦ 無

研 修 監 理 員: ㊦ 無

ハ. 方 式: ㊦ 直轄 委託

7. 研 修 施 設: HIC、国立衛生試験所(東京・大阪)

主要受入先: 国立衛生試験所(東京・大阪)

宿 舎: (1) 兵庫インターナショナルセンター

(60年10月30日から12月6日まで)

(2) 東京国際研修センター(60年9月12日から10月29日まで)

8. 研 修 教 材: (1) FOOD SANITATION IN JAPAN (1981年作成)

(2) FOOD ADMINISTRATION OF JAPAN

(59年度改訂)

(3) わが国における輸入食品の衛生検査

(4) 参考図書、スライド、フィルム等

資 機 材: 食品分析機器、顕微鏡、スライドプロジェクター、映写機等

9. 研修付帯プログラム

(1) 関連プログラム

イ. 集合ブリーフィング ④ 無

来日の翌日、東京国際研修センター（TIC）において、来日諸手続き及び滞在費支給に係る説明を行なう。

ロ. 一般オリエンテーション ④ 無

来日の翌1週間、国際研修センター（TIC）において、下記プログラムにより日本の経済、行政、文化等の紹介を行なう。

一般オリエンテーションプログラム

日	時 間	内 容
第 1 日 (火)	10:00～12:00 13:30～14:15 14:15～16:15	所長挨拶 JICA 事業説明 TIC 業務等説明 よりよい滞日生活のために
第 2 日 (水)	10:00～12:00 13:30～14:30 14:30～16:30	日本の文化史 日本の経済協力 日本の人文地理
第 3 日 (木)	10:00～12:00 14:00～16:00 16:15～17:15	日本の経済 日本の行政機構 日本紹介フィルム上映
第 4 日 (金)	10:00～12:00 14:00～16:00	日本の言葉 日本の教育
第 5 日 (土)	9:00～13:00	都内見学（バス）

ハ. 日本語集中講談 有 ④

10. 研修の評価

研修終了時において評価会を開催し、講義内容、研修プログラム、研修の成果について研修員と意見交換を行なう。また、GENERAL EVALUATION SHEET 及び FINAL REPORT を研修員より提出せしめ、上記評価会における感想、意

見、提案等とあわせて、研修員の本件研修コースに対する理解度を総合的に評価することとしている。又、研修終了後、しかるべき時期に厚生省国際課及び保健課、国立衛生試験所の担当官と共に評価に対する反省会を持ち、今後の本件研修コースの実施・運営面の改善に資することとしている。

11. 応募・選考状況：

割当は9ヶ国に対して各国1名であるが、1ヶ国から3名以上応募のあった国もあり、選考の結果、下記のように定員6名の受入れを決定した。

割 当 国	応 募 人 員	受 入 決 定 数
(ア ジ ア 地 域)		
中 国	1	
イ ン ド ネ シ ア	3	1
マ レ ー シ ア	1	1
フ ィ リ ピ ン	3	1
シ ン ガ ポ ー ル	0	
ブ ル ネ イ	0	
(中 近 東 地 域)		
ト ル コ	2	1
(中 南 米 地 域)		
ブ ラ ジ ル	4	1
ペ ル ー	3	1
合 計	17	6

付一1

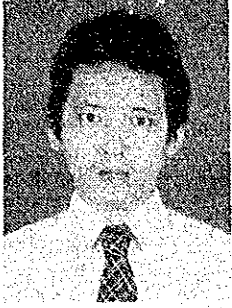
研 修 員 名 簿
研 修 実 施 日 程

昭和60年度輸出入食品検査技術コース研修員名簿（第7回）

研 修 期 間 昭和60年9月12日～12月10日（3ヶ月）

研修指導者：川 崎 洋 介

研修担当者：松 井 淑

写 真	氏 名・現 職（年令）	勤務先・自宅住所	写 真	氏 名・現 職（年令）	勤務先・自宅住所
	Mr. Widjanto ウィジャント (35才) 品質管理試験センター 水産物研究室長	Pusat Pengujian Mutu Barang Departemen Perdagangan Jl. Raya Bogor km 26 Jakarta Timur INDONESIA Complex "Rancho Indah" Block H No 14 Tanjung Barat—Pasar Minggu Jakarta INDONESIA		Mjss. Safiye Özsun サ フ ィ エ (30才) 農林村省 管轄機関 生産管理部技術監督官	General Directorate for Food Protection and Control Akay Cad No;3 Bakanliklar Ankara, Turkey Refik Saydam Cad No. 2-2 Incirli Ankara,Turkey.
	インドネシア			トルコ	
	Dr. Padmini Denis デ ニ ス (36才) ク ラ ン グ 保 健 所 上 級 保 健 官	Health Office Klang Selangor, Malaysia 43, Jalan Terasck Tiga Bangsar Baru Kuala Lumpur, Malaysia		Miss. Maria Cristina Duran ク リ ス テ ィ ーナ (34才) サンパウロ州立保健所 化 学 研 究 員	Institute Adolfo Lutz Av. Dr. Arnaldo,, nº 355 Cerqueira Cesar São Paulo S. P. Brazil Rua Ferreira de Araujo, nº 812-Casa 5 Pinheiros São Paulo S. P. Brazil
	マレーシア			ブラジル	
	Mrs. Divinia Santiago Reyes デ ィ ビ ニ ア (27才) 食品ターミナル食品分析部 品質管理監督官	Food Research Department Food Terminal Incorporated Taguig, Metro Manila Philippines Block 30-2, Lot 17 BF Resort Vista Grande, Pamplona, Las Piñas, Philippines		Miss. Engracia Lupe Vergas Herrera ル ペ (41才) 農業省研究所向け指導及び 機材供与担当者	Agriculture Ministerio Avda Salaverry s/m Jesus Maria Lima Peru Calle 1, C-5 Aurora Este-Subruillo Lima Peru
	フィリピン			ペルー	

昭和 60 年度輸出入食品検査技術研修コース

研 修 実 施 日 程

自 昭和60年 9 月 12 日
研修期間： 至 昭和60年 12 月 10 日 (3 ヶ月)

No. 1

9

月

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
9 / 1	土				
2	日				
3	月				
4	火				
5	水				
6	木				
7	金				
8	土				
9	日				
10	月				
11	火				
12	水	研 修 員 来 日			
13	木	"			
14	金	プリーフィング			TIC
15	土	敬老の日			

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
16	月	振 替 休 日			
17	火	一般オリエンテーション	JICA		TIC
18	水	"	"		"
19	木	"	"		"
20	金	"	"		"
21	土	"	"		"
22	日	"	"		"
23	月	秋 分 の 日			"
24	火	プログラムオリエンテーション 厚生省オリエンテーション	コースリーダー 厚生省 国際課	川 崎 洋 介 夫 黒 川 達 夫	"
25	水	カントリーレポート	厚生省 食品保健課 乳肉衛生課 成田・横浜検疫所	小早川 隆 敏 伊 藤 蓮太郎 担 当 官	"
26	木	講：食品衛生法概説 歴史 講：" 総論	厚生省 食品保健課 "	藤 原 濱 一 敏 小早川 隆 敏	"
27	金	講：国内食品監視 体制、保健所、食中毒 指定検査機関、食協、指導員	" "	中 嶋 茂 等 佐 野 等	"
28	土				
29	日				
30	月	講：表示 食品の規格基準 容器包装の規格基準 FAO/WHO合同食品規格	厚生省 食品保健課 " 食品化学課 食品保健課	古 田 栄 敬 加 地 祥 文	"

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
10/ 1	火	講：食品添加物 残留農薬と容器包装	厚生省 食品化学課	岸 田 修 一 長 尾 清	TIC
2	水	講：食肉水産食品の規制 乳、乳製品の規制	乳肉衛生課	伊 藤 連太郎 森 田 邦 雄	"
3	木	講：輸入食品監視(OUTLINE) 輸入食品の実際(違反事例) 検疫(伝染病)	検疫所業務管理室 " "	太 田 周 司 高 谷 幸 井 川 景 琴	"
4	金	講：日本人の食生活 輸出入食品の現状	お茶の水女子大学 農林水産省経済局 国 際 部	福 場 博 保 石 崎 新一郎	"
5	土				
6	日				
7	月	見：成田空港検疫所	成田空港検疫所 食品監視課	坂 江 博 見 塩 見 幸 博	成田空港
8	火	見：横浜港検疫所 見：(財)マイコトキン検査協会	横浜港検疫所 同検査協会	川 口 洋 二 遠 藤 正 敏	同検疫所 同検査協会
9	水	講：国際検疫、国内検疫 見：農林水産省、横浜植物防疫所	農 水 省 横浜植物防疫所	山 下 光 生	横浜植防
10	木	体 育 の 日			
11	金	国立衛生試験所（表敬、見学） 食品部紹介 食品添加物部紹介 衛生微生物部紹介 講：食品中の残留農薬	国立衛生試験所 食品部 食品添加物部 衛生微生物部 食品部	斉 藤 行 生 義 平 邦 利 一 戸 正 勝 鈴 木 隆	国立衛試
12	土	講： "	"	"	"
13	日				
14	月	講：食品中毒原因菌の検査法 実： "	衛生微生物部	河 西 勉	"
15	火	講：食品の微生物汚染 実：細菌試験	"	一 戸 正 勝 河 西 勉	"

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
10/16	水	講：一般細菌検査法 実： "	国立衛生試験所 変異原性部	三 瀬 勝 利 松 井 道 子	国立衛生 試 験 所
17	木	講：食品由来伝染病起因菌 実： "	"	"	"
18	金	講：食品中の真菌試験法	衛生微生物部	宇田川 俊 一	"
19	土	講：食品中の異物検査法	食 品 部	光 榮 昭 雄	"
20	日				
21	月	講：マイコトキシン検査法	"	豊 田 正 武	"
22	火	講：食品添加物 器具・容器包装	食品添加物部 "	山 田 隆 神 倉 美枝子 石 綿 肇	"
23	水	講：食品変質の検査法	食 品 部	内 山 貞 夫	"
24	木	講：輸出食品監視と JAS 規格 見：東京農林規格検査所	農水省東京農林規格 検 査 所	藤 田 忠 義	東 京 検 査 所
25	金	見：(財)日本穀物検定協会	日本穀物検定協会	竹 生 新治郎	同 検 定 協 会
26	土				
27	日				
28	月	講：有毒菌類 有毒植物	千葉大学 生物活性研究所	大 谷 吉 雄 山 崎 幹 夫	TIC
29	火	中 間 評 価 会	厚 生 省		"
30	水	東 京→神 戸 ブリーフィング			
31	木	講：サンプリング、 データー処理	兵庫県衛生研究所	金 田 吉 男	IHC

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
11/1	金	講：貿易取引のバイオロス 一次産品輸出入の問題点 と対応	海外貨物検査機関	大 高 俊 昭	HIC
2	土				
3	日	文 化 の 日			
4	月	振 替 休 日 神 戸→京 都			
5	火	実：分析機器操作 (G. C.)	島津製作所		京 都
6	水	実： "	"		"
7	木	見：乳製品製造管理	明治乳業㈱ 京都工場		京都工場
8	金	見：肉製品品質管理	丸大食品㈱		高槻工場
9	土				
10	日	京 都→大 阪			
11	月	実：食品添加物、残留農薬	国立衛生試験所 大阪支所	伊 藤 誉志男 外 海 泰 秀 中 村 恵 三 辻 澄 子 四方田 千佳子	国立衛生試験所 大阪支所
12	火	実： "			
13	水	実： " 大阪→神戸			
14	木	講：食品の貯蔵と変質 (殺菌方法含)	香川大学 農学部	芳 沢 宅 実	HIC
15	金	予 備 日			

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
11/16	土				
17	日	研 修 旅 行 神 戸→沖 縄			
18	月	見：琉球大学 医学部	琉球大学 医学部	大 鶴 正 満	琉球大学
19	火	見：県公害衛生研究所	県公害衛生研究所	吉 田 朝 敬	公 害 研
20	水	見：名護保健所 那覇→名護	名護保健所	比 賀 政 昭	保 健 所
21	木	名護→那覇			
22	金	見：那覇港検疫所	那覇港検疫所	木 村 喜久三	検 疫 所
23	土	勤労感謝の日 那 覇→大 阪			
24	日				
25	月	見：食品製造工程と微生物管理	カネテツデリカフーズ㈱	竹 花 貞 爾	カネテツ デリカフーズ㈱
26	火	講：食物と病気	長崎大学 熱帯医学研究所	板 倉 英 世	HIC
27	水	講：熱帯農作物と病虫害 魚貝類の毒	農学博士 大阪大学 薬学部	鈴 木 直 治 北 川 勲	HIC
28	木	見：レトルト食品工場 見：排水処理 見：原料貯蔵及び包装工場	㈱MCC食品 甲南ユーティリティ 東洋ナッツ㈱	山 田 正 敏 中 山 重 明	MCC食品 甲南ユーティ リティ 東洋ナッツ
29	金	講：缶詰検査	㈱日本缶詰検査協会	江 川 宏	同検査協会
30	土				

No 7

12

月

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
12/ 1	日				
2	月	講：研修総括	コースリーダー	川 崎 洋 介	HIC
3	火	ファイナルレポート作成			"
4	水	最 終 評 価 会	コースリーダー	川 崎 洋 介	"
5	木	閉 講 式			
6	金	神 戸→東 京			
7	土	研 修 員 帰 国			
8	日	"			
9	月	"			
10	火	最 終 帰 国 日			
11	水				
12	木				
13	金				
14	土				
15	日				

付一2

研修関係機関及び関係者リスト

I 研修実施関係機関一覧表

II 講義及び見学内容一覧表

I 研修実施関係機関一覧表

機 関 名	〒	所 在 地	電 話
厚生省大臣官房国際課	100	東京都千代田区霞が関 1丁目2番2号	(03) 503-1711
“ 生活衛生局 食品保健課	“	“	“
“ “ 食品化学課	“	“	“
“ “ 乳肉衛生課	“	“	“
“ 国立衛生試験所	158	東京都世田谷区上用賀 1丁目18-1	(03) 700-1141
“ “ 大阪支所	540	大阪市東区法円坂 1丁目1-43	(06) 941-1533
農 林 水 産 省 東京農林規格検査所	108	東京都港区港南 4丁目4-7	(03) 474-4501
“ 横浜植物防疫所	231	神奈川県横浜市北仲通 5-57	(045) 201-1249
(財)日本缶詰検査協会 (神戸検査所)	651	神戸市中央区港島 3-2-1	(078) 302-7771

Ⅱ 講義及び見学内容一覧表

月 / 日	曜日	講 義 名	講 師 名	所 在 地
9 / 24	火	厚生省オリエンテーション	厚生省大臣官房国際課 課長補佐 黒 川 達 夫	〒100 東京都千代田区霞が関1丁目2-2 ☎ 03-503-1711
9 / 26	水	食品衛生法概説：歴 史 ：総 論	厚生省生活衛生局 食品保健課 事務官 藤 原 禎 一 " " 健康食品対策室長 小早川 隆 敏	" "
9 / 27	金	国内食品監視：体制、保健所、食中毒 指定検査機関、食協、指導員	" " 監視係長 中 嶋 茂 " " 指導係長 佐 野 等	" "
9 / 30	月	表 示 食品の規格基準 容器包装の規格基準 FAO / WHO 合同食品規格	" " 課長補佐 古 田 栄 敬 " 食品化学課 衛生専門官 " 食品保健課 主 査 加 地 祥 文	" " "
10 / 1	火	食品添加物 残留農薬	" 食品化学課 衛生専門官 岸 田 修 一 " " 課長補佐 長 尾 清	" "
10 / 2	水	食肉水産食品の規制（と畜場含む） 乳・乳製品の規制	" 乳肉衛生課 課長補佐 伊 藤 蓮太郎 " " 衛生専門官 森 田 邦 雄	" "
10 / 3	木	輸入食品監視 輸出入食品の実際（違反事例） 検 疫（伝染病）	" 食品保健課 " " 検疫所業務管理室 輸出入検査係長 太 田 周 司 " " 衛生専門官 高 谷 幸 " " " 専 門 職 井 川 景 琴	" " "
10 / 4	金	日本人の食生活 輸出入食品の現状	お茶の水女子大学 生活環境研究センター所長 教授 福 場 博 保 農林水産省経済局国際部 貿易関税課 課長補佐 石 崎 新一郎	〒112 東京都文京区大塚2-1-1 ☎ 03-943-3151 〒100 東京都千代田区霞が関1丁目2-1 ☎ 03-501-3725
10 / 9	水	国際検疫、国内検疫	農林水産省横浜植物防疫所 調整指導官 前 田 武 男	〒231 神奈川県横浜市北仲通5-57 横浜農林水産合同庁舎 ☎ 045-201-1249
10 / 11 ~12	金	食品中の残留農薬	厚生省国立衛生試験所食品部 食品第一室長 鈴 木 隆	〒158 東京都世田谷区上用賀1-18-1 ☎ 03-700-1141
10 / 14	月	食中毒原因菌の検査法	" 衛生微生物部 主任研究官 河 西 勉	"
10 / 15	火	食品の微生物汚染	" 衛生微生物部 細菌第二室長 一 戸 正 勝	"

講 義 2

月 / 日	曜日	講 義 名	講 師 名	所 在 地
10 / 16	水	一般細菌検査法	厚生省国立衛生試験所安全性生物試験研修 センター変異原性部微生物変異研究室長 同室主任研究官	〒158 東京都世田谷区上用賀1-18-1 ☎ 03-700-1141
10 / 17	木	食品由来伝染病起因菌 残留農薬	"	"
10 / 18	金	食品中の真菌試験法	" 微生物部 真菌室長	"
10 / 19	土	食品中の異物検査法	" 食品部 主任研究官	"
10 / 21	月	マイコトキシン検査法	" 第三室長	"
10 / 22	火	食品添加物	" 食品添加物部 第一室長 " " 第三室長 " " 主任研究官	"
10 / 23	水	食品変質の検査法	" 食品部 第二室長	"
10 / 24	木	輸出食品監視と JAS 規格	農林水産省 東京農林規格検査所 規格検査部長	〒108 東京都港区港南4-4-7 ☎ 03-474-4501
10 / 28	月	有毒菌類	千葉大学生物活性研究所 講 師 教 授	〒280 千葉県千葉市亥鼻1-8-1 ☎ 0472-22-7171
10 / 31	木	サンプリング・データー処理	兵庫県衛生研究所 食品薬品部長	〒652 神戸市兵庫区荒田町2-1-19 ☎ 078-511-6581
11 / 1	金	貿易取引のバイオロス：一次産品輸出入の問題点	海外貨物検査㈱ 大阪支店長	〒550 大阪市西区靱本町1-6-3 靱ビル ☎ 06-448-7611
11 / 14	木	食品の貯蔵と変質	香川大学農学部食品学科 食品衛生学研究室 助 教 授	〒761 香川県木田郡三木町池戸 -07 ☎ 08789-8-1411
11 / 26	火	植 物 と 病 気	長崎大学熱帯医学研究所 病理学部門 教 授	〒852 長崎県長崎市坂本町12-4 ☎ 0958-47-2111
11 / 27	水	熱帯農作物と病虫害 魚 貝 類 の 毒	国際協力事業団 農薬利用コース研修指導者 大阪大学薬学部生薬学教室 教 授	〒655 神戸市垂水区向陽2-5-19 ☎ 078-707-6304 〒564 大阪府吹田市山田上133-1 ☎ 06-877-5111

見 学 1

月 / 日	曜日	見 学 内 容	指 導 機 関 名	担 当 者	所 在 地
10 / 7	月	輸入食品監視	成田空港検疫所 食品監視課長	坂 江 博 見	〒 286 千葉県成田市三里塚字御料牧場 1-1 -11 新東京国際空港ターミナルビル中央棟 3 階 ☎ 0476-32-6701
10 / 8	火	輸入食品監視	横浜港検疫所 食品監視課長	原 田 禎 顕	〒 231 神奈川県横浜市中区海岸通 1-1 横浜第 2 港湾合同庁舎 ☎ 045-201-0505
		マイコトシン検査	(財)マイコトキシン検査協会 主任検査官	前 田 協 一	〒 231 神奈川県横浜市中区山下町 92 ☎ 045-662-2361
10 / 9	水	植物防疫	農林水産省 横浜植物防疫所 調整指導官	前 田 武 男	〒 231 神奈川県横浜市中区北仲通 5-57 横浜農林水産合同庁舎 ☎ 045-201-1249
10 / 24	木	食品の輸出検査	農林水産省 東京農林規格検査所 規格検査部長	藤 田 忠 義	〒 108 東京都港区港南 4-4-7 ☎ 03-474-4501
10 / 25	金	穀物検査	(財)日本穀物検定協会 中央研究所 所 長	竹 生 新治郎	〒 272 千葉県市川市新井 2-17-3 -01 ☎ 0473-56-8711
11 / 7	木	乳 処 理	明治乳業(株) 京都工場 事務課 課 長	竹 内 昭 雄	〒 610 京都市綴喜郡田辺町大住字立原 1-1 -03 ☎ 07746-2-3161 ~ 5
11 / 8	金	食肉加工工場	丸大食品(株) 常務取締役 生産部長	太 田 康 弘	〒 568 大阪府高槻市緑町 21-3 ☎ 0726-75-1111
11 / 18	月	大学施設及び熱帯医学	琉球大学 医学部 寄生虫学教室 教 授 助教授	大 鶴 正 満 佐 藤 良 也	〒 903 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 ☎ 0988-95-3331
11 / 19	火	県衛生研究所施設及び業務	沖縄県公害衛生研究所 所 長	吉 田 朝 敬	〒 901 沖縄県大里村大里高嶺原 208 ☎ 0989-45-0781
11 / 20	水	保健センター施設及び業務	名護保健センター 所 長	比 賀 政 昭	〒 905 沖縄県名護市名護 1617 ☎ 0980-52-2714
11 / 21	木	検疫所監視業務	那覇港検疫所 衛生・食品監視課長	木 村 喜久三	〒 900 沖縄県那覇市港町 2-11-1 那覇港湾合同庁舎 ☎ 0988-68-8037

見 学 2.

月/日	曜	見 学 内 容	指 導 機 関 名 者	担 当 者	所 在 地
11 / 25	月	水産食品加工工場	カネテツデリカフーズ(株) 常務取締役	竹 花 貞 雨	〒 652 神戸市兵庫区神明町 1 - 28 ☎ 078-651-7379
11 / 28	木	缶詰食品、レトルト食品工場	MCC 食品(株) 研究室長	山 田 正 敏	〒 658 神戸市東灘区深江浜町 32 ☎ 078-451-1481
		原料貯蔵及び勾装工場	東洋ナッツ(株) 業務課 課 長	中 山 重 明	〒 658 神戸市東灘区深江浜町 30 ☎ 078-452-7211
11 / 29	金	缶詰検査	(財)日本缶詰検査協会 化学検査室長	江 川 宏	〒 651 神戸市中央区港島 3 - 2 - 1 ☎ 078-302-7771

実 習

月/日	曜	実 習 内 容	指 導 者 名	所 在 地
11 / 5 6	火 水	分析機器操作	(株)島津製作所 京都分析センター 応用技術部長 若 林 忠 男	〒604 京都市中京区西ノ京桑原町1 ☎ 075-811-3188
11 / 11 12 13	月 火 水	食品添加物・残留農薬 " "	国立衛生試験所大阪支所 食品部 部 長 " 食品第一室室長 " 食品第二室室長 伊 藤 啓志男 外 海 泰 秀 中 村 恵 三	〒540 大阪市東区法円坂1-1-43 ☎ 06-941-1533

付-3

国別・年度別研修員参加実績表

国別・年度別研修員参加実績表

(昭和54年度～昭和60年度)

国名(地域)	年 度	54	55	56	57	58	59	60	計
(ア ジ ア)									
バングラディシュ			1						1
ビ ル マ		1	1	1	1	1			5
イ ノ ド				1	1	1	1		4
インドネシア		1					1	1	3
韓 国		1	1	1					3
マ レ イ シ ア		1	1		1		1	1	5
フ ィ リ ピ ン		1	1	1	1	2		1	7
シンガポール		1							1
ス リ ラ ン カ			1	1	1	1			4
タ イ				2	2	2			6
中 国				1			1		2
香 港					1	1			2
(中 近 東)									
イ ラ ク				1	2				3
ト ル コ								1	1
(中 南 米)									
ブ ラ ジ ル					2	2	1	1	6
メ キ シ コ							1		1
ペ ル ー								1	1
(オセアニア)									
パプア・ニューギニア					1				1
フ ィ ジ ー							1		1
合 計 19ヶ国		6	6	9	13	10	7	6	57

